

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	妻籠宿保存50周年記念事業
事業主体 (連絡先)	公益財団法人妻籠を愛する会 (南木曾町吾妻2159-2 TEL: 57-3513)
事業区分	8 その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,768,104円 (うち支援金: 1,713,000円)

事業内容

妻籠宿保存事業開始50周年の節目の時であり、平成30年2月3日(土)に記念式典を行なった。その一環として、第42回妻籠冬期大学講座を開催し保存当初から調査研究をしてきた奈良女子大学名誉教授の上野氏と全国数多くの文化財を調査してきた文化庁文化財調査官の下間氏から見た妻籠宿の記念講演を行った。

50年のまとめとして、記念誌の編集及び発行を行なった。また、妻籠宿保存開始から毎年行なってきた文化文政風俗絵巻之行列(11月23日)の際に配布するかわら版の過去50回分を縮刷版として発行した。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①②③ 2月3日に開催した記念講演及び冬期大学講座より、妻籠宿の地域一体となつての保存活動に対する周囲の関心の高さや、中山道の宿場町の一つとしての価値、大切さを再認識することができた。

参加者数 例年80名→H29年度170名受講

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

50年間の保存活動の再認識により、現状を見つめなおすきっかけとなった。さらに10年、20年だけでなく、100年後の活動を見据えて保存に取り組んでいく。



【50年記念誌・瓦版】

【目標・ねらい】

- ① 保存事業の目的の再認識
- ② 景観保全・環境整備に対する住民の意識向上
- ③ 観光おもてなし事業への意識向上

※自己評価【A】

【理由】

記念誌・瓦版集は妻籠地区全戸配布、式典・冬期大学は招待者だけでなく、広く広報で住民に参加を促し、多数参加した。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある